

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年2月3日 10時00分～12時50分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	警察安全相談等及び苦情の取扱状況（平成28年中）	警務部	総務部長
2	平成29年優秀警察職員表彰式の実施		
3	国府宮はだか祭における雑踏警備の実施	地域部	警務部長 生活安全部長 地域部長
4	迅速的確な人命救助		
5	主要事件の検挙		
6	報告 暴力追放セミナーの開催	刑事部	刑事部長 交通部長 警備部長
7	主要事件の発生・検挙		
8	主要事件の検挙		
9	交通事故発生状況（平成29年1月末）	交通部	情報通信部長
10	陸上自衛隊との共同実動訓練の実施	警備部	
11	警察署における災害警備図上訓練の実施		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 平成28年中の警察署協議会運営状況等	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 公安委員会宛文書等の受理（9件）		
3	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長
4	決裁 苦情の調査結果		
5	報告 損害賠償請求事件判決結果等		
6	決定 聴聞等の実施結果・決定 52件	総務部	訟務官 首席聴聞官 聴聞官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 警察安全相談等及び苦情の取扱状況（平成28年中）

警務部長から、平成28年中の警察安全相談等及び苦情の取扱状況について、

「警察安全相談等の取扱件数は112,902件で、平成27年中に比べ4,668件増加した。

公安委員会宛苦情の受理件数は38件、警察宛苦情の受理件数は138件であった」

旨の報告があった。

イ 平成29年優秀警察職員表彰式の実施

警務部長から、

「2月7日（火）午後2時から、警察本部講堂において平成29年優秀警察職員表彰式を実施する。

受賞者は、

本部長特別賞 1人

優秀警察職員表彰 233人

である」

旨の報告があった。

(2) 地域部

ア 国府宮はだか祭における雑踏警備の実施

地域部長から、

「国府宮はだか祭に伴い、2月9日（木）午前8時から同日午後7時頃までの間、稲沢市の国府宮神社（おわりおおくにたま尾張大國霊神社）及びその周辺にお

いて、雑踏警備を実施する」
旨の報告があった。

イ 迅速的確な人命救助

地域部長から、
地域警察官の迅速的確な初動警察活動による火災現場での人命救助事
案の概要
について報告があった。

ウ 主要事件の検挙

地域部長から、
金融機関強盗未遂事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「素早い立ち上がりが見事である」
旨の発言があった。

(3) 刑事部

ア 暴力追放セミナーの開催

刑事部長から、
「2月7日(火)午後1時30分から、日本特殊陶業市民会館において、
暴力団等による組織犯罪や民事介入暴力事案等に適切に対応して被害防
止を図るとともに、県民の暴力団排除気運の高揚を図るため、暴力追放
セミナーを開催する」
旨の報告があった。

イ 主要事件の発生・検挙

刑事部長から、
中区栄一丁目地内における殺人未遂事件の発生及び検挙概要
について報告があった。

委員から、
「初動捜査の段階で検挙できたのは良かった」
旨の発言があった。

ウ 主要事件の検挙

刑事部長から、
外国人密売組織の密売人による覚せい剤取締法違反事件の検挙概要
について報告があった。

(4) 交通部

交通事故発生状況（平成29年1月末）

交通部長から、平成29年1月末の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、1月中12人で前年同月に比べ9人減少した。

1月中の交通死亡事故の主な特徴としては、
名古屋市内で多発
歩行者が被害者となる死亡事故が多発

である。

2月中の主な取組は、
名古屋市長による緊急アピールの発信を受けた活動の実施
交通指導取締りの強化
交通機動隊の集中投入
交通死亡事故抑止対策アドバイザー会議の開催
高齢者の交通事故抑止に向けた反射材普及促進キャンペーンの実施

である」

旨の報告があった。

委員から、

「交通事故死者数の増減事由を具体的に検証し、今後の施策に生かして
いただきたい」

旨の発言があった。

(5) 警備部

ア 陸上自衛隊との共同実動訓練の実施

警備部長から、

「2月7日(火)、航空自衛隊岐阜基地において、愛知県警察、岐阜県
警察、陸上自衛隊が共同実動訓練を実施する」

旨の報告があった。

イ 警察署における災害警備図上訓練の実施

警備部長から、

「2月1日(水)から6月30日(金)までの間に、大規模災害時の対
応に万全を期すため、全警察署において、巨大地震が発生したとの想定
に基づき、ブラインド型の図上訓練を実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「地域の実情に合わせた効果的な訓練に努めていただきたい」
旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 平成28年中の警察署協議会運営状況等

公安委員会執務官から、平成28年中の警察署協議会運営状況等について、

「定例会は、各警察署ともおおむね四半期に1回開催した。今後も制度
の趣旨に則った運営を行う」

旨の報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（9件）

公安委員会執務官から、
1月30日までに届いた公安委員会宛の文書等9件
について報告があり、決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(4) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「取調べに関する苦情」について調査結果の報告及び申
出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(5) 損害賠償請求事件判決結果等

訟務官から、
損害賠償請求事件判決の結果等
について報告があった。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 48件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果
について報告があり、行政処分を決定した。

4 件

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年2月10日 9時30分～12時35分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成29年度当初予算（案）及び平成28年度2月補正予算（案）の概要	総務部	本 部 長
2	第1回愛知県警察サイバーセキュリティ技能競技会の結果	生活安全部	総 務 部 長 警 務 部 長
3	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年1月）	刑事部	生活安全部長
4	報告 特殊詐欺の認知・検挙状況（平成28年中）		地 域 部 長
5	国外逃亡被疑者の逮捕		刑 事 部 長
6	主要事件の検挙		交 通 部 長
7	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年1月中）	警備部	警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申		
3	報告 警察庁長官が実施した会計監査の結果		監 査 官
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
5	報告 監察案件		首 席 監 察 官
6	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		訟 務 官
7	裁決 放置違反金及び放置違反金に係る延滞金差押処分に対する審査請求		
8	裁決 換価代金配当処分に対する審査請求	刑事部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
9	決裁 暴対法に基づく再発防止命令の発出に係る意見聴取の実施		
10	報告 平成29年監査年度監査委員による財政的援助団体等監査結果		
11	決裁 特定交通安全施設等整備事業を実施すべき道路の指定に係る意見聴取に対する回答	交通部	交 通 規 制 課 長
12	報告 警察職員の援助派遣	警備部	警 備 課 次 長
13	報告 名古屋市との治安連絡会の開催結果	名古屋市警察部	企 画 調 整 課 長
14	決定 聴聞等の実施結果・決定 48件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成29年度当初予算（案）及び平成28年度2月補正予算（案）の概要

総務部長から、平成29年度当初予算(案)及び平成28年度2月補正予算(案)の概要について、

「平成29年度当初の予算額は1,689億1,714万9千円（平成28年度当初予算比27億3,334万6千円増）で、主な事業内容は、

組織体制の充実

県民の生活を脅かす犯罪の抑止と検挙力の強化

安全・快適な交通環境の実現

災害に備えた総合対策の推進

治安の基盤たる警察施設の整備

である。

また、平成28年度2月の補正予算額は5,690万円1千円の減額である」旨の報告があった。

(2) 生活安全部

第1回愛知県警察サイバーセキュリティ技能競技会の結果

生活安全部長から、

第1回愛知県警察サイバーセキュリティ技能競技会の結果について報告があった。

委員から、

「専門知識を有する隠れた人材を発掘することのできる先進的な取組であるので、今後も継続していただきたい」旨の発言があった。

(3) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年1月）

刑事部長から、平成29年1月の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は5,374件で、123件減少した
刑法犯の検挙件数は1,954件で、258件増加した
刑法犯の検挙率は36.4パーセントで、5.5ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は1,176人で、85人増加した
重要窃盗犯の認知件数は773件で、33件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は267件で、70件減少した
重要窃盗犯の検挙率は34.5パーセントで、7.3ポイント下降した
重要窃盗犯の検挙人員は47人で、8人増加した」

旨の報告があった。

イ 特殊詐欺の認知・検挙状況（平成28年中）

刑事部長から、平成28年中における特殊詐欺の認知・検挙状況（平成27年中との比較）について、

「 認知件数は1,058件で、183件増加した
被害総額は34億4,681万円で、1億6,623万円増加した
検挙件数は178件で、6件減少した
検挙人員は164人で、19人増加した」

旨の報告があった。

委員から、

「還付金詐欺がかなり増加しているようなので、是非有効な対策を講じていただきたい」

旨の発言があった。

ウ 国外逃亡被疑者の逮捕

刑事部長から、

平成13年9月に発生した拳銃使用強盗殺人等事件の国外逃亡被疑者の
検挙概要

について報告があった。

委員から、

「『逃げ得は絶対許さない』という強い信念のたまものであり、捜査の緻密さにも非常に感心した」

旨の発言があった。

エ 主要事件の検挙

刑事部長から、

外国人グループによる広域組織的出店荒し等事件の検挙概要

外国人による組織的な運転免許証不正取得事件の検挙概要

覚せい剤取締法違反事件の検挙概要

について報告があった。

(4) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年1月中）

警備部長から、1月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、

「3件の許可申請を受理し、全て許可した」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

2月6日までに届いた公安委員会宛の文書等3件

について報告があり、公安委員会は、「職務質問に対する申出」及び「警察官の職務執行に対する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会室執務官から、
外国人グループによる広域組織的出店荒し等事件合同捜査班
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 警察庁長官が実施した会計監査の結果

監査官から、
平成28年10月3日(月)から10月5日(水)までの間に実施された警察
庁長官の会計監査の結果
について報告があった。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(7) 放置違反金及び放置違反金に係る延滞金差押処分に対する審査請求

訟務官から、放置違反金及び放置違反金に係る延滞差押処分に対する審査請求について、

請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) 換価代金配当処分に対する審査請求

訟務官から、換価代金配当処分に対する審査請求について、

請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(9) 暴対法に基づく再発防止命令の発出に係る意見聴取の実施

組織犯罪対策課長から、

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第11条第2項に規定する暴力的要求行為及び同法律第12条の4第1項に規定する準暴力的要求行為の要求に対する再発防止命令の発出に係る意見聴取を実施する」旨の報告があり、決裁した。

(10) 平成29年監査年度監査委員による財政的援助団体等監査結果

組織犯罪対策課長から、

「地方自治法の規定に基づき、財政的援助団体に該当する公益財団法人暴力追放愛知県民会議が平成29年監査年度監査委員による監査を受監した結果、指摘・指導事項はなかった」旨の報告があった。

(11) 特定交通安全施設等整備事業を実施すべき道路の指定に係る意見聴取に対する回答

交通規制課長から、

「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律に基づき、国家公安委員会及び国土交通大臣が特定交通安全施設等整備事業を実施すべき道路を指定するに当たり、愛知県公安委員会に対して意見照会があったことから、必要な回答をする」
旨の説明があり、決裁した。

(12) 警察職員の援助派遣

警備課次長から、
「福島県公安委員会から、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」
旨の報告があった。

(13) 名古屋市との治安連絡会の開催結果

企画調整課長から、名古屋市との治安連絡会開催結果について、
「2月3日(金)、名古屋市役所で開催し、本県警察からは警務部長以下9名、名古屋市からは、市長以下16名が出席した。
名古屋市からは、
名古屋市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(仮称)
臨時福祉給付金(経済対策分)の支給
なごや子ども応援委員会
金城ふ頭開発「レゴランド・ジャパン」等の開業
について説明があり、本県警察からは、
平成28年中の暴力団情勢等
平成28年中の交通死亡事故発生状況及び平成29年の交通事故抑止
対策
平成28年中の犯罪情勢と平成29年の犯罪の予防と検挙
について説明した」
旨の報告があった。

委員から、
「自転車の安全対策については、今後、県の条例の中でも検討されることであるが、名古屋市の条例との整合性に配慮していただきたい」
旨の発言があった。

(14) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 48件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年2月17日 9時00分～12時50分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	蟹江警察署仮庁舎の運用	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	3月の行事予定	警務部	
3	歓楽街セミナーの開催	生活安全部	
4	主要事件の検挙		
5	報告 国府宮はだか祭における雑踏警備の実施結果	地域部	
6	主要事件の検挙		
7	主要事件の検挙	刑事部	
8	道路交通法の一部を改正する法律の施行	交通部	
9	自転車の安全利用に向けた企業との協定の締結		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申（2件）		
3	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（2件）		
4	報告 人事案件	警務部	警 務 部 長
5	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）		住 民 サ ー ビ ス 課 長
6	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求（3件）		訟 務 官
7	裁決 運転者区分決定に対する審査請求		
8	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	子 ども 女 性 安 全 対 策 課 長
9	決裁 風俗環境保全協議会の設置		保 安 課 長
10	決裁 愛知県暴力団排除条例による勧告	刑事部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
11	決定 聴聞等の実施結果・決定 60件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

蟹江警察署仮庁舎の運用

総務部長から、

「蟹江警察署新庁舎の建替え工事期間の2月27日から平成31年3月（予定）までの間、仮庁舎で業務を実施する」旨の報告があった。

(2) 警務部

3月の行事予定

警務部長から、

3月の行事予定について報告があった。

(3) 生活安全部

ア 歓楽街セミナー開催

生活安全部長から、

「健全で魅力あふれる歓楽街のまちづくりが促進されることを目的として、県内の歓楽街等のビルオーナー、地域住民、事業者等のまちづくり関係者及び行政機関関係者を対象に、2月20日（月）午後2時30分から、愛知県産業労働センターにおいて、歓楽街セミナーを開催する」旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

生活安全部長から、

弘道会傘下組織幹部による組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律違反事件の検挙概要について報告があった。

委員から、

「関係者の保護対策もしっかりと行っていただきたい」旨の発言があった。

(4) 地域部

ア 国府宮はだか祭における雑踏警備の実施結果

地域部長から、国府宮はだか祭における雑踏警備の実施結果について、「稲沢警察署長以下警察官531人体制で自主警備員と連携して雑踏警備を実施した結果、雑踏事故の発生はなかった」旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

地域部長から、強制わいせつ被疑者の検挙概要について報告があった。

委員から、

「素晴らしい初動対応であった」旨の発言があった。

(5) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
アパートを対象とした空き巣被疑者の検挙概要
大麻密売組織を背景とした不法就労助長等事件の検挙概要
大型貨物自動車を対象とした広域自動車窃盗事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「3件とも良い仕事をされた」
「特殊技能を持った優秀な捜査員の後継者育成にも尽力していただきたい」
旨の発言があった。

(6) 交通部

ア 道路交通法の一部を改正する法律の施行

交通部長から、
「道路交通法の一部を改正する法律が3月12日に施行され、準中型自動車免許が新設される。また、高齢者運転に関する交通安全対策を講じるための規定が整備される」
旨の報告があった。

委員から、
「準中型免許の新設は、マイカー利用者よりも、レンタカー利用者や仕事で営業車を使用する者等に混乱が生じるおそれが高いようなので、車を提供する側に注意を促す広報等を徹底していただきたい」
旨の発言があった。

イ 自転車の安全利用に向けた企業との協定の締結

交通部長から、
「民間企業と愛知県警が協定を締結し、愛知県内の高等学校に通学する生徒の自転車利用における交通事故防止に向けた取組を実施する」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、
2月13日までに届いた公安委員会宛の文書等3件
について報告があり、公安委員会は、「警察官の取調べに対する申出」及び
「警察官の言動に対する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として
受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会室執務官から、
有料アダルトサイトにかかる不正指令電磁的記録供用・詐欺事件合
同捜査本部
大量覚醒剤営利目的所持事件捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、いずれも決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（2件）

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1警察署協議会委員2人の辞職及び後任者2人の委嘱
について決裁した。

(4) 人事案件

警務部長から、
人事案件
について報告があり、地方警務官の異動案件について同意を得た。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、

重傷病給付金支給裁定 1件

障害給付金支給裁定 1件

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(6) 放置違反金納付命令に対する審査請求（3件）

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求3件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(7) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施について、

「平成29年1月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、つきまとい、押し掛け、行動監視の告知、粗野乱暴な言動、SNSの連続送信等を理由に40件の警告を実施した。

また、改正ストーカー規制法の『うろつき行為』を適用しての検挙が1件あった」

旨の報告があった。

(9) 風俗環境保全協議会の設置

保安課長から、

「特定遊興飲食店営業を始めとする深夜営業によって生じる事業者と地域住民とのトラブル等を防止し、又は速やかな解決を図るため、改正風営適正化法に基づき、風俗環境保全協議会を設置し、7人を保全協議会委員に委嘱する」

旨の説明があり、決裁した。

委員から、

「協議会はどれくらいの頻度で開催されるのか」

旨の質問があり、

保安課長から、

「基本的には年1回であるが、問題が生じた場合、必要により開催される」

旨の説明があった。

また、委員から、

「今回は男性委員ばかりであるが、女性に委嘱することも可能なのか」

旨の質問があり、

保安課長から、

「今後は女性に委嘱することも考えている」

旨の説明があった。

(10) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、

「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」

旨の報告あり、決裁した。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 56件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年 2月24日 10時30分～13時00分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	平成28年中の愛知県警察音楽隊活動実績	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	主要事件の検挙	刑事部	
3	報告 「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017」開催に伴う交通対策等の実施	交通部	
4	新東名高速道路供用開始 1年の状況		
5	テロ対処訓練の実施	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求（2件）	警務部	訟 務 官
3	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（2件）		
4	決裁 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請	警備部	警 備 課 長
5	決定 聴聞等の実施結果・決定 47件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成28年中の愛知県警察音楽隊活動実績

総務部長から、平成28年中における愛知県警察音楽隊の活動実績について、
「175回の派遣演奏による警察広報活動を実施し、県民の交通安全意識、
防犯意識の高揚等を図った」
旨の報告があった。

委員から、

「大変いい活動をしている」

「演出等も全て隊員が考えていると聞いたが、今後も更に工夫して、交
通安全、防犯活動、採用活動等の積極的な広報に努められたい」
旨の発言があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

不正競争防止法違反事件被疑者の検挙概要

豊橋市内における強盗殺人未遂事件被疑者の検挙概要

について報告があった。

委員から、

「客観的証拠を重視した粘り強い捜査のたまものである」
旨の発言があった。

(3) 交通部

ア 「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017」開催に伴う交通対策等の実施

交通部長及び警備部長から、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017」開催に伴う交通対策等の実施について、

「3月12日(日)午前9時から、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017として、『名古屋ウィメンズマラソン』等複数の大規模路上競技会が同時に開催されることに伴い、交通対策、雑踏警備、警備諸対策等の各種対策を実施する」

旨の報告があった。

イ 新東名高速道路供用開始1年の状況

交通部長から、

平成28年2月13日に開通した新東名高速道路の豊田東JCTから浜松いなさJCT間の供用開始後1年の交通事故発生状況等について報告があった。

委員から、

「今後も道路管理者等関係機関とよく連携して、事故防止対策を継続していただきたい」

旨の発言があった。

(4) 警備部

テロ対処訓練の実施

警備部長から、

「テロ対処能力の向上及び事業者との連携強化を図るため、3月8日(水)午後1時30分から、名古屋市内において、テロ事案の発生を想定した実戦的な合同訓練を実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「テロ対策は大変重要である」

「そのほか大規模集客施設周辺の交通渋滞等各種諸問題への対策も図りたい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

2月20日までに届いた公安委員会宛の文書等2件について報告があり、公安委員会は、「交通取締りに関する申出」及び「犯罪捜査に関する申出」の2件をを警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 放置違反金納付命令に対する審査請求（2件）

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求2件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(3) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求2件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(4) 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請

警備課長から、

本年3月5日に行われる示威集会及び行進の許可申請の内容について報告があり、決裁した。

(5) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 41件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件

再発防止命令に係る意見聴取結果 2件

について報告があり、行政処分を決定した。